

TGM

倉庫システム、工場を最適化

省スペース・省人・安全化

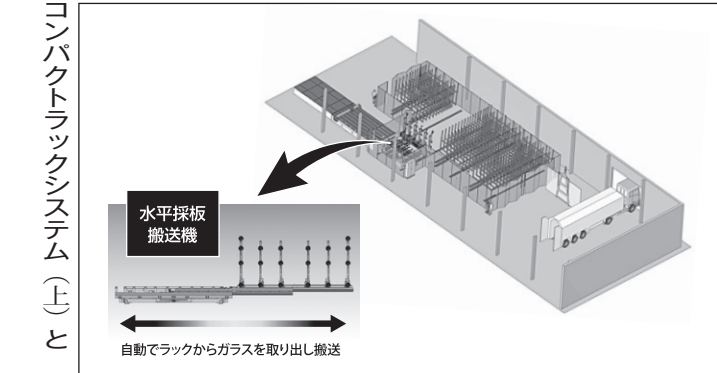
TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・ミストレロ社製の倉庫システムを販売している。板ガラス用半自動コンパクトラックシステム、自動素板供給システムなどがある。自動素板供給システムは、水平採板搬送機とラックシステムを組み合わせることで、複数の切断機に素板を供給できる。客の要求に応じて最適なラック数、レイアウトなどをカスタマイズ可能で、従来のAラックと比べて工場のスペースを有効活用でき、省人化、安全化に貢献する。

半自動コンパクトラックシステムは、少数から多数まで客が在庫する素板の品種数に合わせてラック数をカスタマイズできる。ボタンやレバーで容易に操作でき、素早く、安全に、必要な素板を取り出すことができ、自動素板供給システムは、水平採板搬送機とラ

ックシステムを組み合わせることで、多様な品種を効率的に在庫でき、複数の切断機に素板を一括して供給できる。従来のAラックと4面回転台の

組み合わせでは、多品種を在庫しようとするとき必要なスペースが増大し、Aラックから4面回転台への素板搬送が都度必要になっていた。自動素板供給システムを導入することで、素板の在庫から切断機への供給まで作業者の介入を最小限にでき、在庫スペースや生産

時間の削減だけでなく、省人化、安全化にも貢献する。既存の切断機にも接続できる。ミストレロ社は1805年創業。設立当初は鉄工所として、さまざまな装置や設備をガラス、石材、木材加工メーカーに提供していた。ここ20年は板ガラス向けの倉庫システムに注力している。2019年は、ラックシステムだけで全世界に100台以上、水平採板搬送機とラックシステムを組み合わせた自動素板供給システムを15台供給した。



イタリア・ミストレロ社製の半自動コンパクトラックシステム(上)と自動素板供給システム

同社設備は「コンパクト」「省コスト」「カスタマイズ」「安全性」がコンセプト。板ガラス業界では少量多品種化が進んでおり、ガラス加工工場に在庫する素板の品種が増大している。従来のAラック、4面回転台では在庫可能な品種数に限界があり、多様な品種を

在庫するには広いスペースが必要になる。こうしたことから、限られたスペースに多くの品種をコンパクトかつ安全に在庫し、工場のスペースを有効活用できるラックシステムのニーズが急増している。